

夏休み はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和3年7月16日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する

<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



少し背伸びしてがんばる夏休み、命を大切にしてください！



梅雨末期の集中豪雨で静岡県熱海市をはじめ、島根、鳥取、鹿児島等、各地で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。先日7月9日には、舞鶴地域にも大雨警報が発表され、保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの緊急下校にご協力をいただき、本当にありがとうございました。幸い、それほど多くの降水には見舞われず、安全に下校することができました。今後、台風等で緊急下校になることも予想されます。今一度、ご家族で対応について話をさせていただきたいと思っております。

本日、1学期が終了しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策により、この1学期も、制限下での活動となりましたが、対策を取り、工夫を重ねて子どもたちが精いっぱい活動する姿もたくさん見られた1学期でした。

なかよし班活動もその一つ。そこでは1年から6年までの約25人が一つのなかよし班になり、6年生がリーダーになって一緒に遊んだり、活動をしたりします。6月までなかなか異学年で集まることができなかつたのですが、活動開始に向けて6年生は、班の目当てを決め、自分たちを紹介する動画を撮り、活動の打ち合わせもして準備万端。下級生たちもその動画を見て、楽しみに胸を膨らませていました。そして、ついに解禁。6月25日、7月8日と2回のなかよし班遊びを行いました。密にならず、班のみんなの名前も覚えられる遊び、例えば、ジェスチャー伝言ゲーム、絵しりとり、新聞折りたたみゲームなどを考え、そのゲームの中に名前が覚えられる仕組みを取り入れるなど、短い時間で楽しく参加できる工夫がたくさん詰まっていた。まさに、必要は発明の母です。下級生たちの楽しそうな声と表情、そして、6年生の「やってよかった」という達成感、満足げな表情をどの班でも見ることができました。



1学期、子どもたちはそれぞれ自分の目当てに向かって努力をしてきました。その成果を通知表に表しています。通知表を見ると、つい、マイナス面ばかりに目が行きがちですが、どうか子どもたちの1学期のがんばりに目を向けていただきたいと思います。がんばったことを認めてやったり褒めてやったりしてください。認められたり褒められたりすると、子どもたちの次への意欲が高まります。そして、次の課題（がんばること）と一緒に考えてください。「少し背伸びをしてがんばるとできる」くらいがちょうどよいです。お子様から「次は、〇〇を△△してがんばる。」という言葉が聞かれれば素晴らしいですね。その課題克服のために、夏休み、2学期とぜひ、一緒に取り組んでください。小さなことでも、粘り強く続けることで自信になり、力になります。どうかよろしくお祈りいたします。

後になりましたが、毎朝、「行ってらっしゃい。」と笑顔で送り出してくださったご家族や「おはよう。気を付けてね。」と雨の日も暑い日も声をかけ、登校や下校を温かく見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。お陰様で大きな事故なく1学期が終了しました。

明日から40日間の夏休みが始まります。一人一人がかけがえのない命を大切に、事故のない楽しい夏休みにしてほしいと思っております。保護者や地域の皆様には、常にもまして、子どもたちの見守りや声かけをどうぞよろしくお祈りいたします。

校長 小森 昌子